

選考結果総括表

府省庁名 経済産業省

役職		現任者				任命予定者			選考経過
		氏名	年齢	当初就任 年月日	前職	氏名	年齢	現(前)職	
(独)経済産業 研究所	理事長	及川 耕造	65	H17.8.5	日本政策投資銀行 理事 [OB] ※最終官職 特許庁長官	中島 厚志	58	みずほ総合研究所(株) 専務執行役員調査本 部長	応募総数 11名 ↓ 書類選考 ↓(4名) 面接 ↓(1名) 任命権者が選考委員長 から直接説明を受けた 後、選任
(独)日本貿易 保険	理事長	鈴木 隆史	61	H21.8.1	特許庁長官 [OB]	再 任			応募総数 10名 ↓ 書類選考 ↓(5名) 面接 ↓(1名) 任命権者が選考委員長 から直接説明を受けた 後、選任

(独)産業技術 総合研究所	理事 (企画本部長)	脇本 眞也	56	H19.7.31	経済産業省 関東経済産業局長 [OB]	再 任		応募総数 26 名 ↓ 書類選考 ↓(4名) 面接 ↓(1名) 任命権者が選考委員長 から直接説明を受けた 後、選任 ↓ 所管大臣に協議	
(独)産業技術 総合研究所	監事	石野 秀世	61	H19.7.31	会計検査院 事務総局次長 [OB]	大谷 進	61	日本電気(株)顧問	応募総数 15 名 ↓ 書類選考 ↓(6名) 面接 ↓(1名) 任命権者が選考委員長 から直接説明を受けた 後、選任
(独)製品評価 技術基盤機構	監事	地崎 修	61	H19.4.1	(財)バイオインダストリ ー協会専務理事 [OB] ※最終官職 通商産業省大臣官房 付	鈴木 孝利	62	住友化学(株)執行役 員 ペトロケミカル・コー ポレーション・オブ・シ ンガポール社長	応募総数 13 名 ↓ 書類選考 ↓(3名) 面接 ↓(1名) 任命権者が選考委員長 から直接説明を受けた 後、選任

※ 公務員OB該当者は、現任者及び任命予定者の「現(前)職」欄に[OB]と記載。

独立行政法人経済産業研究所役員名簿新旧対照表

役職	現任者						任命予定者			任命権者	発令予定日
	氏名	年齢	当初就任年月日	任期	任期満了年月日	前歴	氏名	年齢	前歴		
公募 理事長	及川 耕造	65	H17.8.5	2	H23.3.31	特許庁長官 日本政策投資銀行理事	中島 厚志	58	みずほ総合研究所(株) 専務執行役員調査本部長	経済産業大臣	H23.4.1
理事 (非常勤)	根津 利三郎	63	H13.8.20	2	H23.8.19	経済協力開発機構科学技術産業局長 (株)富士通総研取締役 エグゼクティブ・フェロー					
監事 (非常勤)	八田 進二	61	H18.7.14	2	H23.3.31	青山学院大学院会計 プロフェッション研究科 教授					
監事 (非常勤)	菅沼 義夫	67	H19.5.24	2	H23.4.14	大臣官房調査統計部 資源エネルギー統計 管理官 (社)日本ジュエリー協 会専務理事					

(独) 経済産業研究所 (R I E T I) 理事長選任理由

1. 法人のミッション

我が国の経済産業政策の立案に寄与するとともに、経済・産業の状況に関し広く一般の知識と理解の増進を図ることを目的として、経済産業政策に関連する経済、経営、法律などの分野の基礎的な調査研究及びその成果の普及・政策提言を行う。

2. 公募ポスト

法人を代表して、経済産業省を始め政策機関と連絡調整を図り、また国内外の大学・民間研究機関等と連携しながら、中期目標及び中期計画の達成に向けて法人の業務を総理する。このため、経済産業政策に関する幅広い知見、内外の研究機関等との連携強化のための交渉や調整を行う能力、多様な雇用形態による研究者やスタッフのマネジメントを適切に行い、組織として高い成果を上げるためのリーダーシップ等が求められる。

3. 選考プロセス

外部有識者による選考委員会は、6日間にわたり、11名の応募者の書類審査を行った上で、書類審査を通過した4人について約3時間の面接選考を行い、5名の委員全員一致で適任と判断した者1名を選考した。任命権者である経済産業大臣は、選考委員長から直接選考の経緯及び結果について詳しく聴取し、選考委員会が適任と判断した中島厚志氏を選任した。

4. 任命理由

中島氏は、政策研究機関としてのR I E T Iの使命や役割について十分理解している。内外の経済・産業事情に精通しており、民間研究機関における研究成果の普及促進の経験も活かしつつ、経済産業政策に資する研究成果を内外に発信する能力を十分に有している。加えて、長年にわたる国際業務経験や海外研究機関との連携の実績をベースとして、政策研究機関としての国際的な評価を高めていくための経験と能力も十分に備えている。

また、民間企業の管理職・役員として、組織運営の経験が長く、合理化や業務拡大等にリーダーシップを発揮してきた実績がある。面接では、「産業・企業を興す」ことに一貫して携わってきた民間での経験を活かして、今後は、公的な立場で貢献していきたいとの強い意気込みが示された。

このように実績と意欲を兼ね備えるとともに、大局観やバランス感覚にも優れ、法人の代表として組織の改革を遂行できる候補者は、他の候補者についてその潜在力を評価したとしても、同氏以外に見当たらない。

独立行政法人日本貿易保険役員名簿新旧対照表

役職	現任者						任命予定者			任命権者	発令予定日
	氏名	年齢	当初就任年月日	任期	任期満了年月日	前歴	氏名	年齢	前歴		
公募 理事長	鈴木 隆史	61	H21.8.1	2	H23.3.31	特許庁長官	再任			経済産業大臣	H23.4.1
理事	大林 直樹	62	H17.4.1	2	H23.3.31	日本貿易保険総務部 審議役					
理事	加藤 文彦	58	H19.7.24	2	H23.3.31	中小企業庁次長					
監事	西川 茂樹	63	H19.4.1	2	H23.3.31	(財)貿易保険機構参事					
監事 (非常勤)	今井 敬	81	H13.4.1	2	H23.3.31	新日本製鐵(株)相談 役・名誉会長					

独立行政法人日本貿易保険（NEXI）理事長選任理由

1. 法人のミッション

我が国の輸出や海外投融資などの対外取引において生じる通常の保険によって救済することができないリスクを国が引き受ける貿易保険制度の実施業務を行う。

2. 公募ポスト

インフラ輸出支援など貿易保険の役割が高まる中、法人を代表・総理し、国家戦略、利用者ニーズへの機動的な対応とリスク管理とを両立させつつ、貿易保険事業を的確に運営することが必要。このため、関連分野の知見、中立性に加え、強いリーダーシップを発揮して法人の業務・経営改革に不断に取り組むことのほか、国内外の関係機関や企業等とハイレベルの交渉・調整を自ら行うことが求められる。

3. 選考プロセス

外部有識者による選考委員会は、トータル4日間にわたり、10名の応募者から書類選考し、5名の候補者に絞った上で、3時間余にわたる面接・討議を行い、1名を唯一の適任者として全員一致で選考した。経済産業大臣（任命権者）は、選考委員長から直接、他の候補者を含む評価結果を詳しく聴取した上で、選考委員会が適任と判断した1名を自ら面接し、鈴木隆史氏を選任した。

4. 選任理由

鈴木氏は、経済産業省在職中、6回10年間の貿易関連ポストを含め、二度の輸出保険法改正、OECD輸出ガイドライン制定、アジア債券保険の導入など、貿易保険の専門的知見において他の候補者の追随を許さない上、国内外とのハイレベルの交渉・調整に豊富な経験を有する。また、一昨年8月にNEXI理事長に就任して以降、政府の新成長戦略を踏まえた貿易保険の拡充や業務・経営改革等に強いリーダーシップを発揮し、昨年度の法人の業績は中期計画を上回るとの評価を得ている。

選考委員会委員からは、鈴木氏は、トップダウン型の経営の「スピード感」、リーダーシップの「エネルギー」、問題意識・構想力や知見の「奥の深さ」等において、他の候補者とは「拭い去りがたい差がある」ため、平時ならともかく、政策的緊急性が高く、制度の改変・移行期におけるNEXIトップの役割に照らせば、課題を熟知し、能力に不安のない、鈴木氏のような強力なリーダーが相応しいとの考えが示されたところである。

任命権者としても、他の候補者の潜在力にも着目し、現職かつ公務員出身である点を仮に差し引いてもなお鈴木氏の大きなプラスを認め、喫緊の課題である諸改革を遂行する最適任者であると判断したものである。

独立行政法人産業技術総合研究所役員名簿新旧対照表

役職	現任者						任命予定者			任命権者	発令予定日	
	氏名	年齢	当初就任年月日	任期	任期満了年月日	前歴	氏名	年齢	前歴			
理事長	野間口 有	70	H21.4.1	2	H23.3.31	三菱電機(株)取締役会長						
副理事長	小野 晃	64	H20.4.1	2	H23.3.31	(独)産業技術総合研究所理事						
理事	脇本 眞也	56	H19.7.31	2	H23.3.31	関東経済産業局長	再任			理事長	H23.4.1	
〃	河津 司	52	H22.7.31	2	H23.3.31	(独)経済産業研究所 総務グループ総務ディレクター【役員出向】						
〃	上田 完次	64	H21.4.1	2	H23.3.31	東京大学人工物工学研究センター長						
〃	瀬戸 政宏	54	H21.4.1	2	H23.3.31	(独)産業技術総合研究所 企画本部企画副本部長						
〃	一村 信吾	58	H19.2.16	2	H23.3.31	(独)産業技術総合研究所 計測フロンティア研究部門長						
〃	金山 敏彦	58	H22.4.1	2	H23.3.31	(独)産業技術総合研究所 ナノ電子デバイス研究センター長						
〃	山崎 正和	61	H18.4.1	2	H23.3.31	(独)産業技術総合研究所 環境管理技術研究部門長						
〃	矢部 彰	59	H20.4.1	2	H23.3.31	(独)産業技術総合研究所 産学官連携推進部門長						
〃	湯元 昇	56	H20.4.1	2	H23.3.31	(独)産業技術総合研究所 研究コーディネータ(ライフサイエンス担当)						
理事 (非常勤)	田中 信義	65	H20.4.1	2	H23.3.31	キヤノン(株)専務取締役						
監事	内田 修	59	H21.4.1	2	H23.3.31	(独)産業技術総合研究所 つくばセンター次長						
公募	〃	石野 秀世	61	H19.7.31	2	H23.3.31	会計検査院事務総局次長	大谷 進	61	日本電気(株)顧問	経済産業大臣	H23.4.1

(独) 産業技術総合研究所 (産総研) 理事選任理由

1. 法人のミッション

我が国の経済産業の発展、エネルギーの安定的かつ効率的な供給の確保を目的に、鉱工業の科学技術に関する研究開発等の業務を総合的に行っている。

2. 公募ポスト

企画本部長として、約 120 名の職員を指揮監督し、当法人の経営方針及び研究方針を企画立案するとともに、その実現に向けて組織内外との総合調整を実施することが求められる。このため、産業技術全般に関する十分な知見と約 3000 人規模の組織運営に対する深い理解、さらには産学官との円滑な連絡調整等を行い得る能力を人材であることが求められる。

3. 選考プロセス

外部有識者による選考委員会は、トータル 6 日間にわたり、26 名の応募者の書類選考を行った上で、書類選考を通過した 4 名に対する約 3 時間半の面接選考を行い、面接を実施した委員全員が、唯一適任と判断した者 1 名を適任者として選考した。任命権者である理事長は、別途これら 4 名に対して、個別に面談を行うとともに、選考委員長から選考の経過及び結果について詳しく聴取した。その後、選考委員長及び理事長は、経済産業大臣に直接説明を行うとともに、経済産業大臣が当該適任者を面談した上で、脇本眞也氏を選任した。

4. 任命理由

脇本氏は、経済産業省在職中は、工業技術院産業技術融合領域研究所研究調整企画官、産業技術総合研究所設立準備本部参与等のポストを経験し、鉱工業の研究開発に関する広範な専門的知識については他の候補者の追従を許さない。また、関東経済産業局長、産総研理事企画本部長等としてのマネジメント実績、産業技術融合領域研究所研究調整企画官として現場での運営経験などがあり、鉱工業の科学技術に関する研究開発等の業務について、政策立案、企業等の交渉・調整について豊富な経験と実績を有している。面接では、産業界、学界等との連携について、バランスのとれた視点を有しており、研究所と企業の関係についても高い見識が認められるとともに、組織運営において業務効率化を推進するという強い意識も示された。面接した選考委員の全てが候補者のうちで、飛びぬけて高い評価をしている。民間の出身理事長からはリーダーシップを発揮するための補佐役として不可欠と強い要請があった。

このように実績と意欲を兼ね備え、現職理事であるという利点を差し引いても企画本部長としての職責を担える候補者は同氏以外に見当たらない。

(独) 産業技術総合研究所 (産総研) 監事選任理由

1. 法人のミッション

我が国の経済産業の発展、エネルギーの安定的かつ効率的な供給の確保を目的に、鉱工業の科学技術に関する研究開発等の業務を総合的に行っている。

2. 公募ポスト

監事は、本法人の法令遵守状況、経理や契約の適正性、業務内容の適正性などについて監査し、理事長又は経済産業大臣に意見を提出する責務を有する。このため、その重責に耐え、理事長と対等に渡り合えるだけの確固たる人格とリーダーシップ、研究者集団に対して十分議論を行い、説得することのできる専門性やその素養、また、本法人の改革についての意欲などが求められる。

3. 選考プロセス

外部有識者による選考委員会は、トータル5日間にわたり、15名の応募者の書類審査を行った上で、書類審査を通過した6人に対する約3時間の面接選考を行い、評価した委員全員が適任と判断した者1名を適任者として選考した。

任命権者である経済産業大臣は、選考委員長からの選考の経過及び結果について詳しく聴取の上、当該適任者である大谷進氏を選任した。

4. 任命理由

大谷氏は、大手電機メーカーに技術者として入社し、同社の事業本部長などを経て、同社の取締役を勤めた経験を有し、他の候補者と比較しても、監事として本法人の業務を把握するのに必要不可欠なハイテク技術に係る知見に関して、圧倒的に深い造詣を有するとともに、事業本部長、取締役として、大規模組織の内部統制システムの構築、内部監査への対応などを行った経験を有する。

面接では、専門分野に関し、自分が知っていること、他人に聞くべきことなどを見分けて対応しようとするバランス感覚が示されるとともに、過去における自信ある対応と、本法人の監事としての今後の取り組みに対する情熱、また、そのために積極的に学び対応していこうという意欲が認められ、本法人の改革に向けたリーダーシップが期待される。

独立行政法人製品評価技術基盤機構役員名簿新旧対照表

現 任 者							任命予定者			任命権者	発令予定日
役職	氏 名	年齢	当初就任年月日	任期	任期満了年月日	前 歴	氏 名	年齢	前 歴		
理事長	安井 至	66	H21.4.1	2	H23.3.31	(独)科学技術振興機構研究開発戦略センター上席フェロー					
理事	菊池 久	62	H21.4.1	2	H23.3.31	(独)製品評価技術基盤機構生活・福祉技術センター所長					
理事	獅山 有邦	55	H22.7.31	2	H23.3.31	経済産業省中部経済産業局総務企画部長【役員出向】					
公募 監事	地崎 修	61	H19.4.1	2	H23.3.31	石油公団備蓄計画部長 (財)バイオインダストリー協会専務理事	鈴木 孝利	62	住友化学(株)執行役員 ペトロケミカル・コーポレーション・オブ・シンガポール社長	経済産業大臣	H23.4.1
監事 (非常勤)	前川美之	68	H17.4.1	2	H23.3.31	三菱化学(株)代表取締役専務執行役員					

(独) 製品評価技術基盤機構 (N I T E) 監事選任理由

1. 法人のミッション

製品安全、化学物質の安全管理等の技術的法規制の執行等を担い、国民の安全・安心の確保、産業の信頼性、安全性の確保を支える基盤を整備し、我が国の持続的な経済発展に貢献する。

2. 公募ポスト

監事は、本法人の行う業務が法令を遵守したものとなっているか、経理や契約が適正なものであるか、業務内容が適正なものとなっているかについて監査を行い、その結果に基づき、理事長又は主務大臣に意見を提出する責務を有する。このため、本法人が行う業務について、的確に監査業務を遂行できる十分な能力・経験を有し、財務状況や決算状況の監査に精通するとともに、民間企業等においてリーダーシップを発揮した経験等があることが求められる。

3. 選考プロセス

外部有識者による選考委員会は、トータル5日間にわたり、13名の応募者の書類選考を行った上で、書類選考を通過した3名に対する約3時間にわたる面接審査を行い、全会一致で適任者1名を選考した。

任命権者である経済産業大臣は、選考委員長から選考の経過及び結果について詳しく聴取した上で、選考委員会が全会一致で唯一適任と判断した鈴木孝利氏を選任した。

4. 任命理由

鈴木氏は、化学メーカーにおいて、工場長などを歴任し、現在は、執行役員として、海外子会社の現役の社長を勤めている。本法人の行う業務のうち重要な分野として化学物質管理分野があるところ、同氏は、化学に関する専門的な知識が深く、このような専門知識を有することが、その他の本法人の行う業務への理解についても非常に有益であると認められる。また、工場長等の立場で、製品安全、プロセス安全を含めた業務監査を実施した豊富な経験がある。さらに、リーマン・ショック後事業の立て直しでも、社長として合理化計画のリストアップ、新規事業の立ち上げなど、リーダーシップを発揮した実績がある。このため、他の候補者と比べ格段に優れている。

また、本法人を積極的に改革していく強い意欲を持ち、また、中立性を十分に保つことのできる人材であると認められることから、本法人の監事としての職責を果たすことが存分に期待できる。

選考委員会の属性について

【経済産業省】

- ・独立行政法人経済産業研究所 理事長

選考委員会のメンバーの属性は以下のとおり

大学教授	2名
弁護士	1名
その他	2名
<hr/>	
計	5名

- ・独立行政法人日本貿易保険 理事長

選考委員会のメンバーの属性は以下のとおり

弁護士	1名
公認会計士	1名
ジャーナリスト	1名
会社役員	2名
<hr/>	
計	5名

- ・独立行政法人産業技術総合研究所 理事

選考委員会のメンバーの属性は以下のとおり

会社役員	3名
大学教授	2名
弁理士	1名
<hr/>	
計	6名

・独立行政法人産業技術総合研究所 監事

選考委員会のメンバーの属性は以下のとおり

大学教授等	1名
会社役員	1名
弁護士	1名
公認会計士	1名
ジャーナリスト	1名
<hr/>	
計	5名

・独立行政法人製品評価技術基盤機構 監事

選考委員会のメンバーの属性は以下のとおり

大学教授	1名
ジャーナリスト	1名
公認会計士	1名
会社役員等	2名
<hr/>	
計	5名